

(インターネット・はがき等で寄せられた意見)

05. 中川・綾瀬川ブロック

利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(中川・綾瀬川)

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-------|----|----------|---|---|
| 1 | 60歳以上 | 男性 | 埼玉県さいたま市 | <p>1. いつもご指導下さいまして有り難う御座居ます。私共(大宮河川愛護会)は綾瀬川本流7km対岸の(埼玉県県土整備事務所)依頼で清掃と支川の深作川対岸及び深作遊水池等の清掃活動毎月行っています。尚、ゴミの量と質はさいたま市(経済環境局に於て集計)環境総務課(新井様)にて毎月報告発表をしています。</p> <p>2. 「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦」に参加して、さいたま市見沼区小学校11校中、現在片柳小学校で平成18年11月30日に環境学習会AM10:00～12:30迄アシスタントとして、(大宮河川愛護会、リスク研究会、片桐自治会、見沼の自然と環境を守る会、荒川左岸水循環センター)協力致しました。</p> <p>3. 当綾瀬川関橋一妙見迄の水質浄化協力者として、当会は、水質調査管理として協働事業市・行政・市民・事業者で市民に喜ばれる・愛する綾瀬川づくりとしてゴミ・浄化作業として清掃・下水道より流入防止活動をしています。</p> <p>4. 尚河川敷にゴミ捨て看板・生き物がどんな種類がいるかのPRが必要と思われる。大至急実行してください。</p> | <p>日頃より、綾瀬川の河川環境の維持、改善に向けたご協力大変ありがとうございます。</p> <p>綾瀬川の水質改善には皆さまのご協力が必要となりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>不法投棄の多い箇所については適宜禁止看板を設置しています。あまり多く設置しますと河川内の自然環境との調和が図れないとのご意見もありますので、景観を考慮して必要最低限の設置を行っています。今後とも警察や沿川自治体と連携を図りながら監視を行うとともに、不法投棄防止のための啓発活動を進めていきます。</p> <p>また、河川に流入、投棄されるゴミを減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施するしくみ作りにつきましても、自治体と連携し推進していきます。</p> <p>なお、河川内に生息する動植物の説明看板については、ビオトープ等の整備を実施する箇所については設置していきます。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-------|----|----------|---|--|
| 2 | 60歳以上 | 男性 | 埼玉県さいたま市 | <p>私達「大宮河川愛護会」いつも御指導下さいまして有難うございます。さいたま市は人口1,200,000人で10区で一級河川も多いが、市堺には大河川もありますが、綾瀬は見沼区・岩槻区・緑区にまたがり中央より東部側にあり当市の住民がまだまだ河川綾瀬川を知らざる者が少なくワースワン(汚れた川を他人事と感へているため汚名返上としてPR)必要あり、又</p> <p>1. 当市の見沼区では土地の地主とまちづくりとして、宮下に遊水池(希望は一部ビオトープ)を大宮河川愛護会は市の関係者に申し入れをしていますので「綾瀬川整備計画」にも取り入れて下さる様に御願い致します。図面等は土地改良組合・市議員等に保管されています。</p> | <p>綾瀬川は、埼玉県桶川市に源を発し、埼玉県南部と東京都東部の低平地を流下する幹線延長約48km、流域面積約162km²の一級河川であり、そのうち埼玉県越谷市、草加市、八潮市、東京都足立区を含む延長8.9km(東武伊勢崎線橋梁から内匠橋まで)が本計画の対象区間となっています。</p> <p>ご意見を頂いた見沼区宮下の遊水池につきましては、埼玉県が管理している区間になりますので、埼玉県へお伝えします。</p> <p>また、いただいたご意見については、中川・綾瀬川流域全体の意見として参考とさせていただきます。</p> |
| | | | | <p>2. 綾瀬川の自然形に市民参加の出来るイベントの出来る広場的親しみ安い河川として整備する必要あり。見沼区・岩槻区・緑区も河川敷の近辺には住宅も少ないので「今年中で整備計画」立案して検討したらどうかと思う。</p> | <p>今回ご意見をいただいた見沼区、岩槻区、緑区を流れる綾瀬川につきましては、埼玉県が管理している区間になりますので、埼玉県にお伝えするとともに、本計画においても参考とさせて頂き、河川整備の際には、関係機関及び地域住民と連携し、協力を得ながら取り組んでいきます。</p> <p>なお、本計画対象区間の綾瀬川では、草加市が行っている住民が主体となった「今様・草加宿」をテーマとしたまちづくりと連携し、地域ニーズを踏まえた親しみやすい河岸の整備や、自然環境及び地域の特性を考慮しつつ、生き物とふれあうことが出来る場として「綾瀬川ビオパーク」などの整備を行っていきます。また、当該区間は堤防沿いに人家が連なっており、さらに河川においても高水敷がなく、利活用できるスペースが限られています。人と川とのふれあいを高めるため、限られたスペースの中ではありますが、地域ニーズ及び自治体の計画を踏まえ、親しみやすい河川空間の整備と保全を関係自治体と一緒に検討していきます。</p> |
| | | | | <p>3. 綾瀬川の一級河川表示板が是非必要。</p> | <p>河川名を表示することは一般の方々に河川を知ってもらう上で重要なことですので、必要な箇所には設置していきます。</p> |
| | | | | <p>大河川に生きる魚・鳥・野草・水辺の里親制度等も希望する。</p> | <p>現在魚・鳥・野草・水辺の里親制度等の施策は実施されていませんが、自然環境を保全する上からも必要な施策を実施していきます。</p> |
| | | | | <p>4. 日ごろ、河川の美化活動して環境改善をしている団体として、次世代に恥じない様河川と環境を造りたいと思います。</p> | <p>日頃より、綾瀬川の河川環境の維持、改善に向けたご協力大変ありがとうございます。</p> <p>綾瀬川の水質改善には皆さまのご協力が必要となりますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-----|----|----------|----------------------------|--|
| 3 | 20代 | 男性 | 埼玉県さいたま市 | 綾瀬川の改修予定断面の拡幅と、早期着工を希望します。 | <p>綾瀬川は、埼玉県桶川市に源を発し、埼玉県南部と東京都東部の低平地を流下する幹線延長約48km、流域面積約162km²の一級河川であり、そのうち埼玉県越谷市、草加市、八潮市、東京都足立区を含む延長8.9km(東武伊勢崎線橋梁から内匠橋まで)東京都足立区を含む延長8.9kmが本計画の対象区間となっています。</p> <p>中川・綾瀬川は、人口・資産の集積する首都圏を流れる重要な河川であり、流域の急速な市街化及び近年の局地的な集中豪雨等を考えると、これまで実施して参りました流域一体となった「総合治水対策」における河道改修、流域対策等の整備は今後も非常に重要です。</p> <p>本計画においては、現在の中川・綾瀬川において目標流量を安全に流下させることができない区間については、先の総合治水対策を優先に、河道の流下能力対策として、河道掘削、築堤及び堤防の嵩上げを必要な箇所から実施していきます。</p> <p>また、中川・綾瀬川流域は、流域が一様に低平で、緩勾配であるため河川の水位が高くなると自然排水が困難となることから、域外排水対策として江戸川・中川・綾瀬川等、周辺河川と連携して放水路・機場等の整備を実施し、浸水被害軽減を図っていきます。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-------|----|----------|--|--|
| 4 | 60歳以上 | 女性 | 埼玉県さいたま市 | <p>中川・綾瀬川流域総合治水対策協議会が組織されて「中川・綾瀬川流域整備計画」が策定されました。そのことによって、①河道が整備されました。②調節池が整備されました。③排水機場が整備されました。又、流域での取り組みとして、流域貯留浸透事業が行われ、多自然型川づくりがなされ、水辺に親しむ川づくりがなされています。</p> <p>この様に国土交通省、埼玉県、東京都、茨城県の流域の関係34市区町によって、治水対策が講じられているにもかかわらず、綾瀬川の日本河川ワースト1であるのは何故なのか、考えさせられる。一つには、中川・綾瀬川流域は台地や大河川に囲まれていて、平地で低平な地形であることや、勾配が緩やかで、洪水時の水が流れにくいという現状が考えられる。このような地形の特徴を例えば、諸外国の低地域を持つ国を参考にしたり、また、予算を国が計上して、浄化施設を作っていく必要があると考える。</p> <p>流域の住民が環境への配慮をした生活(家庭での油やゴミを流さないなど)が必要なことではある。そのための意識改革、環境学習(児童生徒への意識改革)も必要である。しかし、先に述べた如く、浄化施設をさらに増やすことや、下水処理のための合併浄化槽が作られる必要があると考える。この様に、ハード面とソフト面の両方から対策を講じていく必要があると考える。</p> | <p>綾瀬川は、近年の都市化の進展に伴う首都圏の拡大や中小工場などにより、生活雑排水及び工場排水の流入が増大したことから、水質の汚濁が進んだ河川であり、全国一級河川の大臣管理区間の水質調査結果において、常に下位に位置していました。</p> <p>そこで、綾瀬川の水質改善対策につきましては、昭和63年度に策定した「綾瀬川水質浄化計画」や平成7年度からの「利根川水系綾瀬川水環境改善緊急行動計画(綾瀬川清流ルネッサンス21)、(綾瀬川清流ルネッサンスⅡ)」に基づいて、流域の関係機関による下水道整備、水質浄化施設の整備、及び住民との協働による河川の清掃活動など、流域一体となった水質浄化対策の実施により、綾瀬川の水質は改善対策前に比べ大幅に改善されてきています。</p> <p>近年の同調査結果においても下位に位置しますが、ここ10年での水質改善幅においては、平成19年8月時点では全国で1位となっており、水質改善の成果が出ています。</p> <p>中川・綾瀬川の水質改善につきましては、今後も引き続き支川や流入水路等の対策を含めて、沿川の住民の方々や区市町、都県等関係機関と協力して実施していきます。</p> |
| | | | | <p>又、綾瀬川の自然を取り戻すために護岸を生き物にやさしいものにし、野鳥や魚類の生息の場所とするなど、自然の景観も保全していくことが大切であると思う。</p> <p>ワンドや、ラグーンなどの昆虫やその幼虫の暮らせる場所があると、自然が取り戻せるのではないだろうか。また、魚が池に入ったり出たりできるようなビオトープの整備も必要と考える。生態系が保全され、また湿地帯も保全される。</p> | <p>綾瀬川では、草加市が行っている住民が主体となった「今様・草加宿」をテーマとしたまちづくりと連携し、地域ニーズを踏まえた親しみやすい河岸の整備や、自然環境及び地域の特性を考慮しつつ、生き物とふれあうことが出来る場として「綾瀬川ビオパーク」などの整備を行っていきます。また、本計画対象区間は堤防沿いに人家が連なっており、さらに河川においても高水敷がなく、利活用できるスペースが限られていますが、人と川とのふれあいを高めるため、限られたスペースの中ではありますが、地域ニーズ及び自治体の計画を踏まえ、親しみやすい河川空間の整備と保全を関係自治体と一緒に検討していきます。</p> |
| | | | | <p>周辺住民の出来ることとして、先に挙げた家庭から出るゴミ、油などの生活排水を減らすことがあげられる。(風呂ではシャンプーやリンス、入浴剤を使いすぎないようにする)、(洗濯するときは洗剤や柔軟剤を使いすぎないようにする)など、個人はもとより、工場経営者による、河川敷への不法投棄をなくすことが必要である。むやみに自転車や、テレビ、バイク、冷蔵庫などの不法投棄をしないよう国民全体で実行しなくてはならないと思う。やっている人がいたら、禁止させるなど。以上。</p> | <p>不法投棄を防止するための対策としては、河川内への車輛の進入を規制する車止の設置やカメラによる監視を進めていますが、リサイクル法の制定等により不法投棄が増加しているのが現状です。</p> <p>今後とも警察や沿川自治体と連携を図りながら監視を行うとともに、不法投棄防止のための啓発活動を進めていきます。</p> <p>また、河川に流入、投棄されるゴミを減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施するしくみ作りにつきましても、自治体と連携し推進していきます。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-------|----|----------|---|---|
| 5 | 60歳以上 | 男性 | 埼玉県さいたま市 | <p>何時も大宮河川愛護会(見沼の自然と環境を守る会)を御指導下さいまして有難うございます。私共は(見沼の自然と環境を守る会)大宮河川愛護会に協力して綾瀬川の清掃及び水質調査を行っています。 毎月さいたま市河川課に報告しています。 綾瀬川の上流は自然の堤防となって河畔林があり、風景のおもむきのある所です。この所に親水公園を作って川に親しむことの出来る場所にしてもらいたい。</p> | <p>今回ご意見をいただいた自然堤防となっている綾瀬川の上流部については、埼玉県が管理している区間になりますので、埼玉県にお伝えするとともに、本計画においても参考とさせて頂き、河川整備の際には、関係機関及び地域住民と連携し、協力を得ながら取り組んでいきます。なお、本計画対象区間(東武伊勢崎線橋梁から内匠橋まで)の綾瀬川では、草加市が行っている住民が主体となった「今様・草加宿」をテーマとしたまちづくりと連携し、地域ニーズを踏まえた親しみやすい河岸の整備や、自然環境及び地域の特性を考慮しつつ、生き物とふれあうことが出来る場として「綾瀬川ビオパーク」などの整備を行っています。また、当該区間は堤防沿いに人家が連なっており、さらに河川においても高水敷がなく、利活用できるスペースが限られていますが、人と川とのふれあいを高めるため、限られたスペースの中ではありますが、地域ニーズ及び自治体の計画を踏まえ、親しみやすい河川空間の整備と保全を関係自治体と一緒に検討していきます。</p> |
| | | | | 堤防には遊歩道を作って地域の方が散策できるように希望します。 | 河川は地域住民の方々の憩いの場となっていることから、遊歩道の整備に当たっては、地元要望等も踏まえ、沿川自治体と連携して調整していきます。 |
| | | | | 綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦に参加致しました。 | <p>綾瀬川の水質改善対策につきましては、昭和63年度に策定した「綾瀬川水質浄化計画」や平成7年度からの「利根川水系綾瀬川水環境改善緊急行動計画(綾瀬川清流ルネッサンス21)、(綾瀬川清流ルネッサンスⅡ)」に基づいて、流域の関係機関による下水道整備、水質浄化施設の整備、及び住民との協働による河川の清掃活動など、流域一体となった水質浄化対策を実施しており、近年、綾瀬川の水質は改善されてきています。 中川・綾瀬川の水質改善につきましては、今後も引き続き支川や流入水路等の対策を含めて、沿川の住民の方々や区市町、都県等関係機関と協力して実施していきます。</p> |
| | | | | 河川敷にゴミ捨て禁止、生物の種数等の看板の説示など堤防の杭柱の取り替をお願い致します。 | <p>不法投棄の多い箇所については適宜禁止看板を設置しています。あまり多く設置しますと河川内の自然環境との調和が図れないとのご意見もありますので、景観を考慮して必要最低限の設置を行っています。今後とも警察や沿川自治体と連携を図りながら監視を行うとともに、不法投棄防止のための啓発活動を進めていきます。 また、河川に流入、投棄されるゴミを減らすため、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、地域住民等がボランティアとして継続的に河川美化活動を実施するしくみ作りにつきましても、自治体と連携し推進していきます。 なお、河川内に生息する動植物の説明看板については、ビオトープ等の整備を実施する箇所については設置していきます。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-----|----|---------|--|--|
| 6 | 40代 | 男性 | 埼玉県八潮市 | 八条橋をかけ直して欲しい、ここに言うべきなのか不明ですが、草加一流山線の一番のネックです、古くて狭い為、朝晩の車の流れが良くないので改善を希望。 | ご意見の橋梁につきましては、埼玉県が管理している橋梁になりますので、頂いたご意見は埼玉県へお伝えします。 また、八条橋はすでに将来的に架替をすると聞いていますので、今後協力して進めていきます。 |
| 7 | 50代 | 男性 | 埼玉県熊谷市 | 1. 多自然型川づくりを強力的に推進 | 河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川全体が有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこととした「多自然川づくり」を基本とした、川づくりに取り組んでいきます。 |
| | | | | 2. 流出抑制対策の推進 | <p>中川・綾瀬川流域は昭和30年代までは、水田が多い典型的な農村地帯で、降った雨を一時的に貯留する遊水・保水機能を持っていました。ところが、高度成長期の昭和40年代頃から市街化が進み、田畑等の耕地が宅地や道路に変わったことにより、市街化された地域で浸水被害が発生するようになりました。これまでの治水対策だけでは浸水被害を防ぐことが困難になってきました。そこで、河川だけでなく流域を含めた総合的な治水対策が必要となり、総合治水対策特定河川事業を採択することになりました。</p> <p>中川・綾瀬川流域では昭和55年に国土交通省と埼玉県、東京都、茨城県の流域1都2県40市区町村(現在34市区町)からなる総合治水対策協議会を発足し、昭和58年に流域整備計画を策定(平成12年改訂)し、対策を進めています。</p> <p>このようなことから、中川・綾瀬川は、人口・資産の集積する首都圏を流れる重要な河川であり、流域の急速な市街化及び近年の局地的な集中豪雨等を考えると、これまで実施して参りました流域一体となった「総合治水対策」における河道改修、流域対策等の整備は今後も非常に重要です。</p> <p>流域抑制対策については、本計画においてもこれまでの流域抑制対策実施状況及び対策可能地域を勘案した上で設定しておりますが、今後も一層対策がされるよう関係都県及び流域自治体の協力のもと流域抑制対策の整備促進をしていきます。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-----|----|---------|---|---|
| 8 | 60代 | 男性 | 東京都葛飾区 | 河川の護岸工事の工法を改善してほしい。中川は金網フェンスで張り巡らされています。危険防止のためかとも思われるが、もっと智恵をだしてほしい。これでは、河川がますます住民から遠い存在になってしまう。中には、フェンスを乗り越えて釣りをしたり、遊んでいる者もいるが、もっと住民が水辺に近づける工事を望む。せめて土手の一番水辺よりの所に手すりをつくるなど工夫が出来るはずである。例えば、荒川の中流に堰をつくる計画(荒川上流事務所案)など、無駄な予算を削ればすぐにでも出来るはずである。 | 現在の護岸は、土地利用の観点から勾配の急な構造で施工されているため、河川を利用する方が安全に利用できるように侵入防止柵や注意看板等を設置していますが、できうるかぎり、安全でかつ親しみの持てる川づくりを地元の自治体とも協力して進めていきます。 |
| 9 | 50代 | 男性 | 埼玉県越谷市 | <p>1. 中川・綾瀬川流域は、河川と流域で湛水量を分担する総合治水対策が進められています。整備計画にも総合治水対策を明確に位置づけて下さい。</p> <p>【内容】</p> <p>河川整備計画は河川法に基づいて各種手続きが進められ、河川管理者の責務も明確になっていますが、総合治水対策は、法的根拠が明確でなく、河川整備基本方針にある河川ごとの計画流量の根拠に該当する情報開示もありません。流域住民が、中川・綾瀬川河川整備計画を検討するとき、関係の深い総合治水対策に関する情報が入手しにくいのは不都合です。河川と流域の湛水量の分担割合の妥当性も、治水上の安全確保の責任の所在もはっきりしません。</p> <p>総合治水対策は、河川整備のほかに、市街化調整区域の保持、保水地域の保持、水田等地域の遊水機能の保持、流出抑制対策の強化、雨水貯留施設の設置など、文字通り総合的な対策の積み重ねです。今後、中川・綾瀬川流域が、特定都市河川浸水被害対策法の指定を受けたとしても、対象となる対策は、河川と下水道などの一部にとどまり、総合治水対策で必要とされる全体の枠組みをカバーできません。</p> <p>地域を、洪水等による災害から守り、河川を含めた環境の整備と保全を推進するために、中川・綾瀬川河川整備計画は、河川整備計画のほかに、市街化調整区域の保持、保水地域の保持、水田等の遊水機能の保持、流出抑制対策の強化、雨水貯留施設の設置等にかかる湛水分担量を、年超過確率1/10、1/40、1/100、1/200にわけて明示し、そのときどきの中川と綾瀬川の整備計画がわかるようにしてください。</p> | <p>中川・綾瀬川流域は昭和30年代までは、水田が多い典型的な農村地帯で、降った雨を一時的に貯留する遊水・保水機能を持っていました。ところが、高度成長期の昭和40年代頃から市街化が進み、田畑等の耕地が宅地や道路に変わったことにより、市街化された地域で浸水被害が発生するようになりました。これまでの治水対策だけでは浸水被害を防ぐことが困難になってきました。そこで、河川だけでなく流域を含めた総合的な治水対策が必要となり、総合治水対策特定河川事業を採択することになりました。</p> <p>中川・綾瀬川流域では昭和55年に国土交通省と埼玉県、東京都、茨城県の域40市区町村(現在34市区町)からなる総合治水対策協議会を発足し、昭和58年に流域整備計画を策定(平成12年改訂)し、対策を進めています。</p> <p>この事業は河川での対策、流域での対策、ソフト対策の3つの柱からなっています。まず河川での対策としては洪水を安全に流下するための河道・堤防整備や排水機場・放水路の整備などを行っています。流域での対策では、市街化調整区域の保持、遊水機能を低下させる耕地の不必要な盛土をなくす指導や、流域で開発を行うときに今までは田畑などに貯められることができた雨水と同じ量を貯められる調整池の整備、学校の校庭等を利用した雨水貯留施設などの整備を行っています。また、住民の皆さんにも各戸で雨水浸透マス、雨水貯留タンクの設置の協力をいただいております。ソフト対策では、自治体が作成するハザードマップ作成の基礎資料として浸水実績図や浸水想定区域図の公表を行っています。</p> <p>河川整備計画においても現在実施している「総合治水対策」を位置付けたうえで、優先的に継続して整備を実施していく予定です。</p> <p>また、市街化調整区域の保持、遊水機能の保持等は、流域対策の一つとしてとても重要な位置付けにあると考えており、今後とも、市民の皆さまにもその重要性について広くPRしていくとともに、流域内の関係自治体と連携を図りながら推進していきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|----|----|---------|---|--|
| | | | | <p>2. 中川の治水安全度を高め、環境保全を進めるため、現行の堤防位置を低水路側に変更せず、河積の拡大に努めて下さい。</p> <p>【内容】 中川中流部には、堤外地の幅が広い場所があります。洪水を一定の流速で流下させるためには、堤防間の距離は一定以上広くなくてもよいかもしれませんが、東京湾の水位の高まり、流域からの排水量の増加、上平井水門などの締め切り操作などで、流速が遅くなる傾向にあります。中川の堤外地の河積は、極力広く確保し、堤外地に調節地ができるような余地を残しておく必要があります。治水安全度を高め、環境保全を進めるために、堤防間距離を短縮することはしないようにして下さい。</p> | <p>中川の計画堤防法線(計画位置)は、下流部は人口密集地帯であり、用地確保が困難であるため、現況法線(現況堤防)を尊重し大幅な河道整正は行わない予定です。</p> <p>中上流部の現況堤防は、場所によって河幅が広く、又狭くまちまちでかなり変化している状況で、家屋もまばらであるので、計画堤防法線(計画位置)は、狭い箇所は引堤し、広い箇所は川表側へ法線を動かし、スムーズにする計画とし、昭和60年9月に「都市計画決定」しております。現在は、定められた堤防法線を基に整備を実施しており、現在の堤外地(堤防より川側)をすべて調節池にするとすると、新たな用地の確保、再度の事業説明(事業説明は概ね完了済み)等事業の実施が困難であるとともに社会的影響が大きいことから、現行の計画堤防位置での整備を実施します。</p> |
| | | | | <p>3. 総合治水対策にある盛土、埋め立て行為を法的に制限することが難しい地域にあっては、堤内地側に河川区域を拡大し、河川整備計画で治水安全度の向上を確保できるようにして下さい。</p> <p>【内容】 河川法が適用できる河川区域を、現行のままにとどめず、堤内地側に大幅に拡大し、土地利用を制限するとともに、農作物への補償制度を創設するなど、積極的な治水安全度の向上を図るようにして下さい。</p> | <p>「河川区域」は、河川の流水が継続して存する土地、河川管理施設の敷地である土地、堤外の土地の部分指し、また「河川保全区域」は、河岸又は河川管理施設を保全するため必要があると認める区域を指定するもので、河川として必要な区域を指定するものです。</p> <p>ご要望に対する河川区域の拡大は、現在の法律では必要以上の区域を指定することは困難であり、地権者の合意等、必要な課題を解決しないと、今現在の状況においては、計画に位置付けすることはできません。</p> |
| | | | | <p>4. 中川・綾瀬川河川整備計画の策定にあたり、総合治水対策とともに、流域の市民に理解を求める対策を講じて下さい。</p> <p>【内容】 中川・綾瀬川河川整備計画は、総合治水対策と不可分の関係にあります。河川管理者単独で事業を推進すればよいというものではありません。流域の市民、行政、関係団体等のうち、特に中川・綾瀬川流域総合治水対策協議会などの情報に接することのない流域の市民に対して、対策の必要性や市民の役割、まちづくりとの関係などを理解してもらえるような対策を講じてほしいと思います。</p> | <p>総合治水対策は、上記に記載しましたとおり流域が一丸となって浸水被害を軽減する対策です。これまでも、総合治水対策の必要性や市民の役割等については、イベント開催時のパネル展示、パンフレットの配布等、できる限りわかりやすく説明し対応してきましたが、整備計画においても今後さらに工夫し、よりわかりやすい説明及び対応に努めていきます。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-----|----|---------|---|--|
| 10 | 40代 | 男性 | 東京都日野市 | <p>利根川水系の河川整備計画に盛り込んで欲しい内容</p> <p>以下の2点を河川整備計画に盛り込んでください。</p> <p>1) 利根川水系には国際的に重要な野鳥の生息地IBA(重要野鳥生息地)が6カ所あり、これを保護・保全するという視点 2) チュウヒ(昨年12月に絶滅危惧Ⅱ類から絶滅危惧ⅠB類にランクアップ)が生息する渡良瀬遊水地を保護・保全するという視点</p> <p>1)に関する理由:</p> <p>IBA(Important Bird Areas)重要野鳥生息地は、国際的な鳥類保護組織であるBirdLife Internationalが、世界100ヶ国以上の加盟団体(日本のパートナーは財団法人日本野鳥の会)と共同実施しているプロジェクトです。IBAリスト(目録)は、鳥類を指標にした重要な自然環境を、世界共通の基準(IBA基準)によって選定したものです。</p> <p>利根川水系に関係するIBAサイトは以下の6カ所です。これらの選定基準と環境構成を損なわず、またそれぞれの保全への脅威に留意した整備を進められるような計画にすべきである。</p> <p>■ 奥只見・奥日光・奥利根(その中の奥日光・奥利根) 選定基準: A3基準(北東アジア温帯林) 環境構成: 森林 保全への脅威: 不十分な森林管理, 水門ダムの建設など</p> <p>■ 霞ヶ浦・浮島(全域) 選定基準: A1基準(オオセッカ) A3基準(オオセッカ, コジュリン) A4i基準(コチドリ, ムナグロ, カモ類) 環境構成: 湖沼, 淡水性湿地 保全への脅威: 狩猟, 観光, 湿地の干拓, 水門の建設, 外来植物の導入など</p> <p>■ 利根川河川敷(全域) 選定基準: A1基準(オオセッカ) A3基準(オオセッカ, コジュリン) A4i基準(チュウシャクシギ) 環境構成: 河川敷 保全への脅威: 農地の放棄, 水門建設, 湿地干拓, 外来植物の導入など</p> | <p>1) オオセッカの生息地となる下流部のヨシ原や汽水域の干潟についてはできるだけ保全を図る考えですが、治水事業における必要性から掘削などを実施することになった場合は、モニタリング調査を実施し、必要に応じ学識経験者の意見を聴きながら保全措置や代替措置などの対策に努めます。</p> <p>2) 渡良瀬遊水地は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県の4県にまたがる日本で最大の遊水地で、渡良瀬川、巴波川、思川の洪水流を受け入れることにより、人口・資産の集中する利根川・江戸川下流域を守るという、治水上重要な役割を担っています。この渡良瀬遊水地は、広大なヨシ原に代表されるように、良好な動植物の生息・生育の場としての豊かな湿地が残されていることから、未だ不足している治水容量確保にあたっては、湿地の保全と再生に配慮した手法の検討を進めます。</p> |

| 受付 番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|----------|----|----|---------|---|----|
| | | | | <p>■利根川河口域(全域) 選定基準: A4i基準(ミュビシギ) 環境構成:干潟, 砂浜 保全への脅威:堤防工事, 海岸への車の乗り入れなど</p> <p>■浅間・白根・谷川(その中の分水嶺から利根川側) 選定基準: A3基準(北東アジア温帯林) 環境構成:森林 保全への脅威:不十分な森林管理, 水門ダムの建設など</p> <p>■東京湾奥部(その中の三番瀬) 選定基準: A4i基準(カワウ, スズガモ, ダイゼン, キョウジョシギ, ハマシギ, ミュビシギ, キアシシギ, チュウシャクシギ) A4iii基準(スズガモ) 環境構成:干潟, 浅海域 保全への脅威:河川等からの土砂供給, 洪水時の江戸川放水路からの放流, 生活雑排水による富栄養化など</p> <p>(参考)選定基準 IBA基準生息地の選定は、BirdLife Internationalの定めた全世界共通の基準により進められています。この基準はBirdLife Internationalの発行しているアジアのレッドデータブックや世界の固有種生息地リスト、およびWetland Internationalの発行している水鳥個体数推定値、ラムサール登録湿地に指定される為の基準5および基準6などを元にして定められたもので、おおまかには以下の4つのIBA基準としています。</p> <p>A1基準 世界的に絶滅に危機にある種が生息している。 A2基準 限定された地域に生息する種、または固有種が生息している A3基準 あるバイオームに特徴的な種の相当数が生息している A4基準 多くの渡り鳥が利用／生息している</p> <p>参考文献: 日本野鳥の会, 2006. IBA白書2005 Birdlife International. 2004. IMPORTANT BIRD AREAS IN ASIA, Key sites for conservation</p> | |

| 受付 番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|----------|----|----|---------|---|----|
| | | | | <p>2)に関する理由:</p> <p>チュウヒ(環境省レッドリストの改訂で、昨年12月に絶滅危惧Ⅱ類から絶滅危惧ⅠB類にランクアップ)は、国内では繁殖地が少なく局地的であり、イヌワシやクマタカ(絶滅危惧ⅠB類)よりも繁殖つがい数が少ないにもかかわらず、これまであまり注目されておらず保護活動も進んでいません。これまでに、国内では数十つがいしか繁殖していないこと、ラムサール条約湿地となった仏沼以外では生息環境であるヨシ原の環境が悪化していること、大規模なヨシ原を保全する法的枠組みが少ないこと、ヨシ原でも水路や開水面が必要なこと等が確認されてきており、渡良瀬遊水地に注目しております。</p> <p>現在、渡良瀬遊水地では、冬期30羽前後のチュウヒが生息するにもかかわらず、チュウヒの繁殖は確認されていません。青森県仏沼では、ヨシ焼きによる環境管理をしているにもかかわらずチュウヒの貴重な繁殖地となっていることから、ヨシ焼きの時期や方法の関係から、繁殖に至らないことが推定されています。チュウヒ以外にも、サンカノゴイ(絶滅危惧ⅠB類)、ヒクイナ(絶滅危惧Ⅱ類)、ヨシゴイ(準絶滅危惧)などが生息しており、植生管理、水位管理等に配慮が必要である。</p> <p>参考文献: 平野敏明. 2006. 渡良瀬遊水池におけるチュウヒの生息状況と利用環境. チュウヒサミット2006 日本野鳥の会. 2006. 平成17年度渡良瀬遊水地猛禽類調査報告書</p> <p>以上</p> | |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-----|----|---------|---|---|
| 11 | 20代 | 女性 | 埼玉県八潮市 | <p>私は八潮市に越してきて3年になりますが、以前草加に住んでいたこともあり、草加市に比べて景観整備の遅れを感じており、不満を感じています。そこで、八潮市を通る綾瀬川の河川沿いに遊歩道を造ってほしいと考えております。草加の松原団地駅前の松並木は景観も美しく、歩道もあり、市民が散歩やジョギングをするなど、とても親しみをもってそこを利用しているように感じます。しかし、旧4号[国道]沿いを過ぎたあたりから、ぷつぷりと歩道が途切れ、殺風景なフェンスで仕切られるだけの状態になっております。そこで是非その先も整備をお願いしたいと思います。</p> <p>また、この河川整備計画からは趣旨がずれるかも知れませんが、手代橋[旧]の架け替えも是非お願いしたいです。ここはだいぶ老朽化が進んでおり、幅が狭く歩道もない。しかし、車の交通量が多く、また自転車も頻繁に通るところで非常に危険です。この架け替えを希望している市民は非常に多いので、この意見も付け加えさせていただきます。</p> | <p>ご指摘の「遊歩道」につきましては、県道足立・越谷線の上り車線を西側に移設したのを機に昭和60年「埼玉県シンボルロード整備計画」により、県が整備を実施した箇所になります。</p> <p>それ以外の箇所で松並木の遊歩道と同様な整備を行うとなると、堤防のすぐ脇に道路が通っていたり、人家が連続しているなど、なかなか整備の実施は困難かと思われませんが、同様の計画の際には、関係自治体等と連携し調整していきます。</p> <p>綾瀬川は、埼玉県桶川市に源を発し、埼玉県南部と東京都東部の低平地を流下する幹線延長約48km、流域面積約162km²の一級河川であり、そのうち埼玉県越谷市、草加市、八潮市、東京都足立区を含む延長8.9km(東武伊勢崎線橋梁から内匠橋まで)が本計画の対象区間となっており、ご意見を頂いた手代橋につきましては、草加市・八潮市が管理している橋梁になります。</p> <p>「手代橋」につきましては、河川における工作物として構造等の要因から昭和52年に新しく代替えとして「手代新橋」を埼玉県が施工し、旧「手代橋」は新橋設置に伴い撤去する予定でありましたが、綾瀬川の堤防等が完了するまでは、暫定的に草加市、八潮市に管理を移管し存置している状況で、「手代橋」の架替はずでに完了していると認識していますが、頂いたご意見につきましては、草加市、八潮市にもお伝えします。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-----|----|---------|--|--|
| 12 | 30代 | 男性 | 東京都足立区 | <p>国土交通省の関東地方整備局の皆様方、私たち国民のためにいつも、働いて頂きありがとうございます。 中川・綾瀬川について、意見を致します。 現在、地球温暖化が問題になっているのは、皆さんもご存知の通りだと思います。 私の家も中川が近くにあり、台風や集中豪雨のときは、氾濫しないか心配をしております。 なぜかと言えば、ここ2～3年は、バケツをひっくり返した、集中豪雨が続いていると感じます。 早急に、堤防の強化が必要だと思います。 例えば、(素人考えで申し訳ありません・・・) 堤防を高くすることと、堤防の決壊を防ぐ為に堤防の強化など。</p> | <p>中川・綾瀬川流域は昭和30年代までは、水田が多い典型的な農村地帯で、降った雨を一時的に貯留する遊水・保水機能を持っていました。ところが、高度成長期の昭和40年代頃から市街化が進み、田畑等の耕地が宅地や道路に変わったところにより、市街化された地域で浸水被害が発生するようになりました。これまでの治水対策だけでは浸水被害を防ぐことが困難になってきました。 そこで、河川だけでなく流域を含めた総合的な治水対策が必要となり、総合治水対策特定河川事業を採択することになりました。 中川・綾瀬川流域では昭和55年に国土交通省と埼玉県、東京都、茨城県の流域1都2県40市区町村(現在34市区町)からなる総合治水対策協議会を発足し、昭和58年に流域整備計画を策定(平成12年改訂)し、対策を進めています。 このようなことから、中川・綾瀬川は、人口・資産の集積する首都圏を流れる重要な河川であり、流域の急速な市街化及び近年の局地的な集中豪雨等を考えると、これまで実施して参りました流域一体となった「総合治水対策」における河道改修、流域対策等の整備は今後も非常に重要です。 そこで、本計画においては、現在の中川・綾瀬川において目標流量を安全に流下させることができない区間については、先の総合治水対策を優先に、河道の流下能力対策として、河道掘削、堤防強化を踏まえた築堤及び堤防の嵩上げを実施していきます。</p> |
| | | | | <p>また、決壊しそうになったら、サイレンを鳴らすシステムを構築する。 それが、一番の優先事項だと思います。 この間の台風も決壊しなくて、良かったですが、しかし、それ以上の台風がきたら多分どこかしらが、決壊すると思います。</p> | <p>国土交通省では、平成18年度に洪水等に関する防災情報体系を見直し、市町村の避難勧告等の発令判断の目安、住民の避難判断の参考として「避難判断水位」を設けました。 河川の水位が避難判断水位に達すると、市町村は避難勧告等の必要性を判断し、必要に応じて住民に対して避難勧告の発令を行うこととなります。 洪水時には、国土交通省・気象庁で発表する洪水予報や自治体の提供する情報等にご注意願えればと思います。 中川・綾瀬川の避難判断水位につきましては江戸川河川事務所のホームページでもご覧頂けます。</p> |

| 受付番号 | 年代 | 性別 | 都県・市区町村 | 意見及び質問 | 回答 |
|------|-----|----|---------|---|---|
| | | | | <p>水質改善は、イヌマイトンボを増やしていくことと、護岸の緑化を進めてください。</p> <p>中川は、護岸が直立していますが、隅田川みたいにすれば、いいのではないのでしょうか？</p> | <p>中川・綾瀬川は、近年の都市化の進展に伴う首都圏の拡大や中小工場などにより、生活雑排水及び工場排水の流入が増大したことから、水質の汚濁が進んだ河川でした。</p> <p>そこで、昭和63年度に策定した「綾瀬川水質浄化計画」や平成7年度からの「利根川水系綾瀬川水環境改善緊急行動計画（綾瀬川清流ルネッサンス21）、（綾瀬川清流ルネッサンスⅡ）」に基づいて、流域の関係機関による下水道整備、水質浄化施設の整備、及び住民との協働による河川の清掃活動など、流域一体となった水質浄化対策の取り組みにより、綾瀬川の3地点平均（槐戸橋、手代橋、内匠橋）で、一般的な水質指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）が、水質悪化が著しかった昭和45年のBOD75%値では97mg/lでしたが、最近では環境基準値C類型である5mg/lに近い値まで改善されています。</p> <p>中川・綾瀬川の水質改善につきましては、引き続き、支川や流入水路等の対策を含めて、沿川の住民の方々や区市町、都県等関係機関と協力して実施していきます。特に綾瀬川の改善施策につきましては、水質浄化施設などの既存施設の活用を図りながら、流域及び沿川の住民の方々や区市町、都県等関係機関と協力して実施していきます。</p> |
| | | | | <p>堤防の上のところを、マラソンコースや、自転車コースにすれば、国民も使うと思います。中川の堤防の（山の頂上）上は、自動車の道路になったり、歩けなかったりして、とても不便を感じます。</p> <p>マラソンコースを増やせば、健康促進になり一石二鳥です！！</p> | <p>中川の下流部においては、堤防のすぐ脇に人家が密集していたり、道路として利用している箇所も多いことから、堤防を遊歩道として今すぐ整備を進めることは現状の利用状況等からも困難と思われれますが、それ以外の箇所につきましては、地元要望等を踏まえ、沿川自治体と連携して、調整していきます。</p> |
| 13 | 30代 | 男性 | 愛知県春日井市 | <p>自然環境についての意見です。</p> <p>中川にはヒヌマイトンボの生息地があるそうですが、同じ利根川水系の利根川では、ヒヌマイトンボのミチゲーションが、思わしくない状況になっていると聞きます。</p> <p>中川では同じ失敗をしないように、慎重な計画・施工をお願いします。</p> <p>筑波大学にヒヌマイトンボの生態を研究している研究室があり、ヒヌマイトンボのミチゲーションを科学的に（勘ではなく）成功させた事例を持っていらっしゃいますので、ご相談いただくとよい結果につながるのではないかと思います。</p> | <p>中川のヒヌマイトンボは、平成9年に学識経験者や地元自治体をメンバーにした「中川八潮地区環境計画検討会」を立ち上げて合意を図りながら進めていきました。</p> <p>まず、ヒヌマイトンボの生息状況や生息環境といった基礎データを収集し、ヒヌマイトンボ保全方法に関する検討を行いました。ヒヌマイトンボの生息地となるヨシ原の創出方法については、現地で試験施工を行い中川における最適な造成方法を検討・設計し造成工事を実施したものです。さらに、飼育舎を設置しヒヌマイトンボの増殖・飼育を行いました。</p> <p>現在は、ヨシ原造成地のヨシの生育状況を確認しながら、飼育舎において飼育している個体を現地に放流し、現地における生息が確認されています。詳しくは江戸川河川事務所HPをご覧ください。</p> |